





政策評価体系	一般会計									特別会計								備考	
	歳出予算額	前年度繰越額	予備費使用額	流用等増△減額	予算決定後移増△減額	歳出予算現額	支出済繰出額	翌年度繰越額	差引額	歳出予算額	前年度繰越額	予備費使用額	予算制約の規定による経費増額	流用等増△減額	予算決定後移増△減額	歳出予算現額	支出済繰出額		翌年度繰越額
政策評価対象外	56,862,701	2,720,272	452,550	-	-	62,035,523	60,856,838	812,595	363,989	2,602,000	-	-	-	-	-	2,502,000	2,317,633	184,367	-
(1) 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること	4,172,412	1,800,000	-	-	-	5,972,412	5,529,141	217,255	226,015										
1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること	4,172,412	1,800,000	-	-	-	5,972,412	5,529,141	217,255	226,015										
(2) 研究を支援する体制を整備すること	54,690,289	920,272	452,550	-	-	56,063,111	55,329,797	595,340	137,974	2,502,000	-	-	-	-	2,502,000	2,317,633	184,367	-	
1 厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施を確保すること	54,690,289	920,272	452,550	-	-	56,063,111	55,329,797	595,340	137,974	2,502,000	-	-	-	-	2,502,000	2,317,633	184,367	-	
合 計	29,558,937,577	136,091,697	352,295,347	-	1,006,156	30,049,329,747	29,276,915,123	192,230,660	572,292,864	83,111,790,274	1,970,571	-	-	-	116,105,343	83,229,974,188	79,978,178,254	29,160,075	3,222,535,857

- (注) 1. 政策評価の対象となる計数及び政策評価の対象外の計数で政策に関連付けられるものを掲記している。  
2. 下段<>外書きは、複数の政策にまたがる計数(例:施設整備費等)及び複数の政策にまたがると整理できる計数であり、総額の「内数」で掲記し、合計欄において本書きに言及している。  
3. 計数は、原則として単位未満を切り捨てたものであり、端数において合計とは一致しないものがある。  
4. 千円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合は「-」で表示している。